



 **BUNDLE** by  freee

1000名にアンケート

情シスのSaaS利用実態 調査レポート

2025年版

経営者・情報システム担当者1019人に聞いてみました。

近年、企業活動において欠かせない要素のひとつとなったSaaS。市場規模は成長を続け、日々SaaS業界は進化しています。

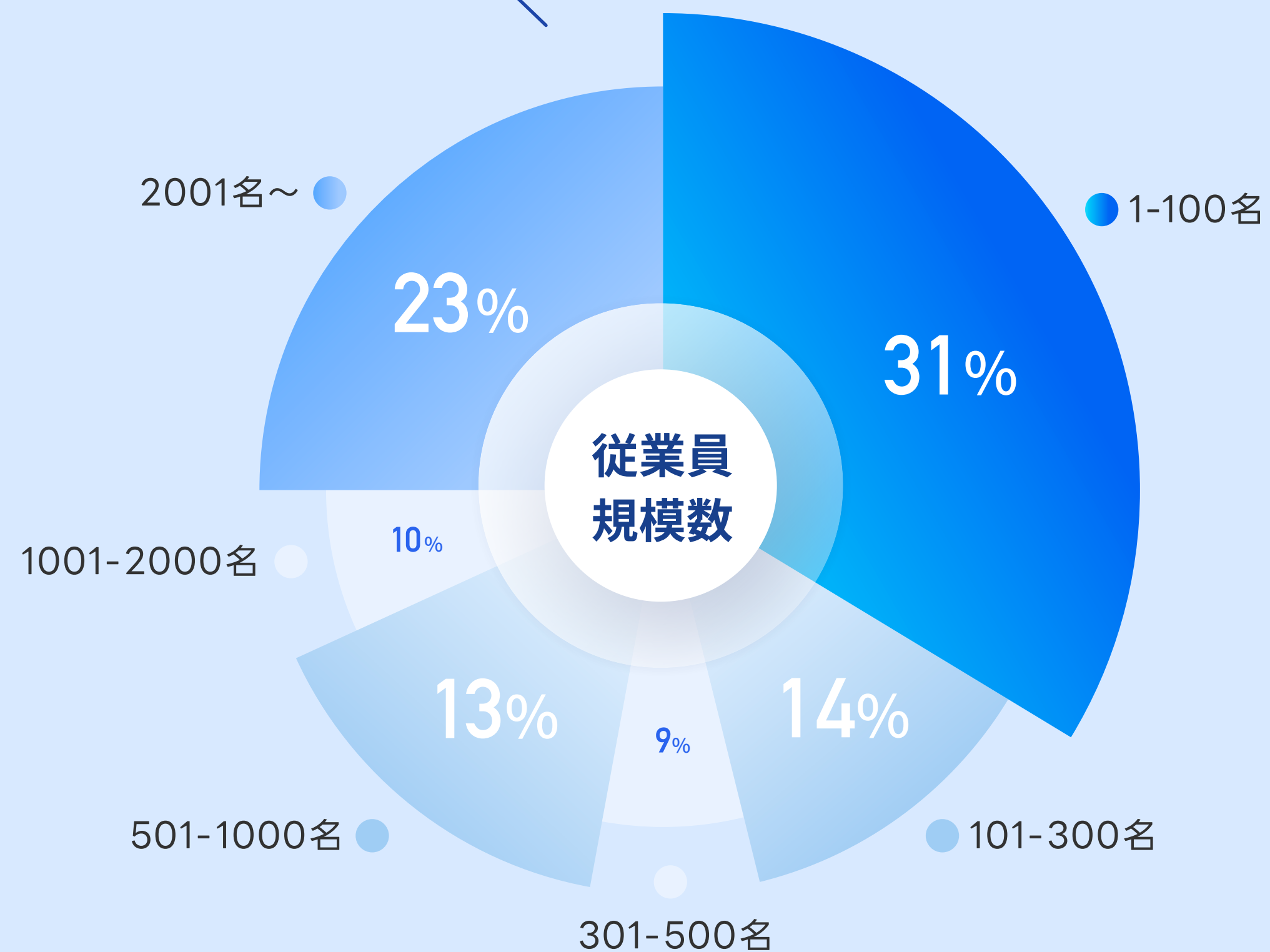
一方で利用するSaaSが増えるに従って、管理・統制の難しさ、セキュリティ対策と事故対応など、新たな課題が顕在化する場合があります。

SaaSの利便性ゆえの危険性については、多くの企業や担当者の頭を悩ます問題だと言えます。

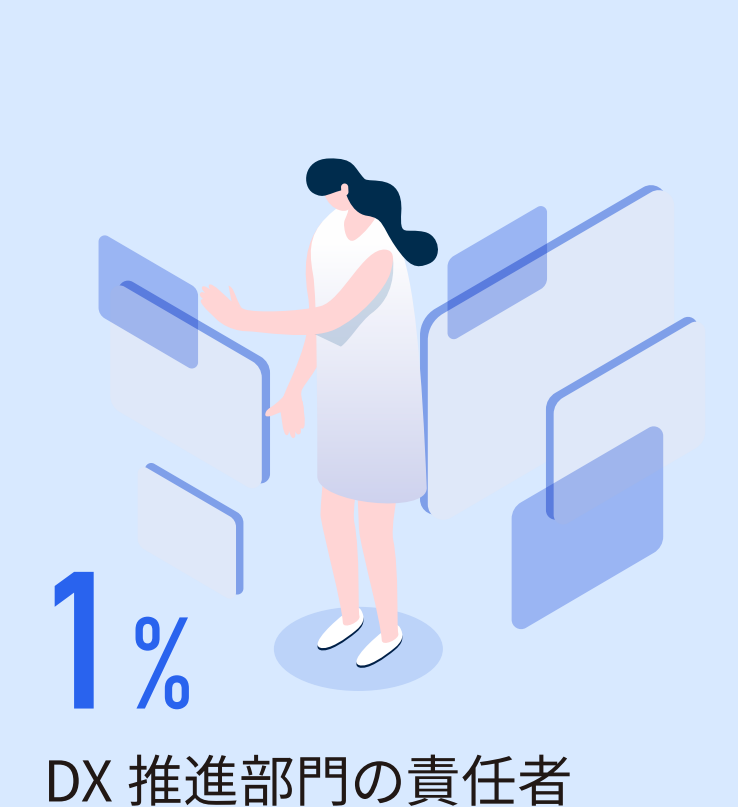
いま、最前線を走る情報システム担当や、企業の経営層は、SaaSとどのように向き合っているのか？

2025年版の最新のSaaSトレンドについて調査してみました。

こんな方々に聞いてみました！



役割 / 職務範囲



CHAPTER 01

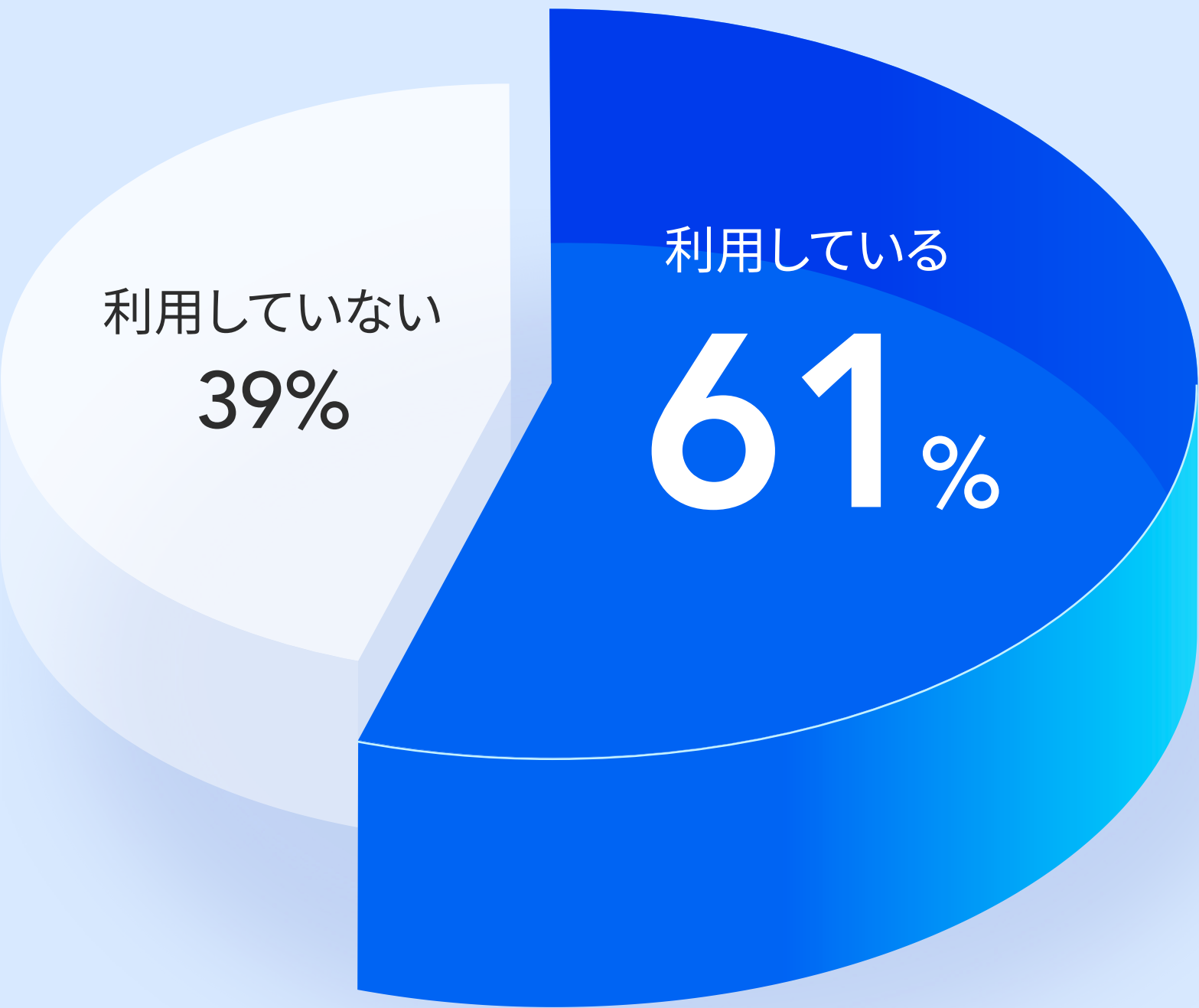
SaaSの利用状況に関する アンケート結果



Q1. 有償 SaaS は利用していますか？

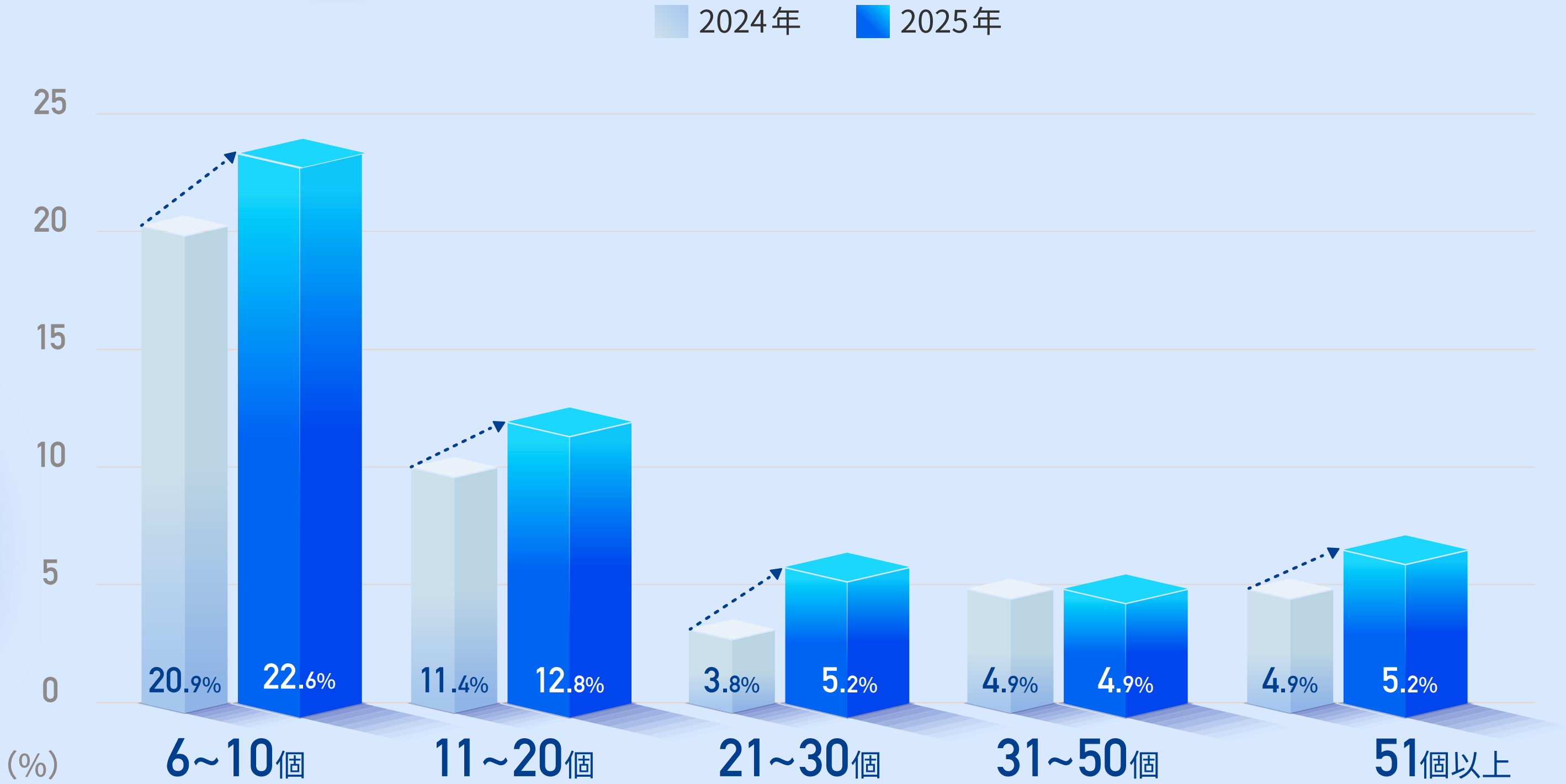
過半数以上の企業が有償のSaaSを利用している結果になりました。
有償SaaSを利用している企業の半数が6個以上の有償SaaS使っていると回答しており、また2024年と比較すると、有償SaaSを6個以上使っている企業数の割合は軒並み増えていることから、SaaSにコストをかけることは一般的となったと言えます。

Q 有償 SaaSを利用していますか？



N=499 回答方式：シングルアンサー

Q 有償 SaaSはいくつ利用していますか？



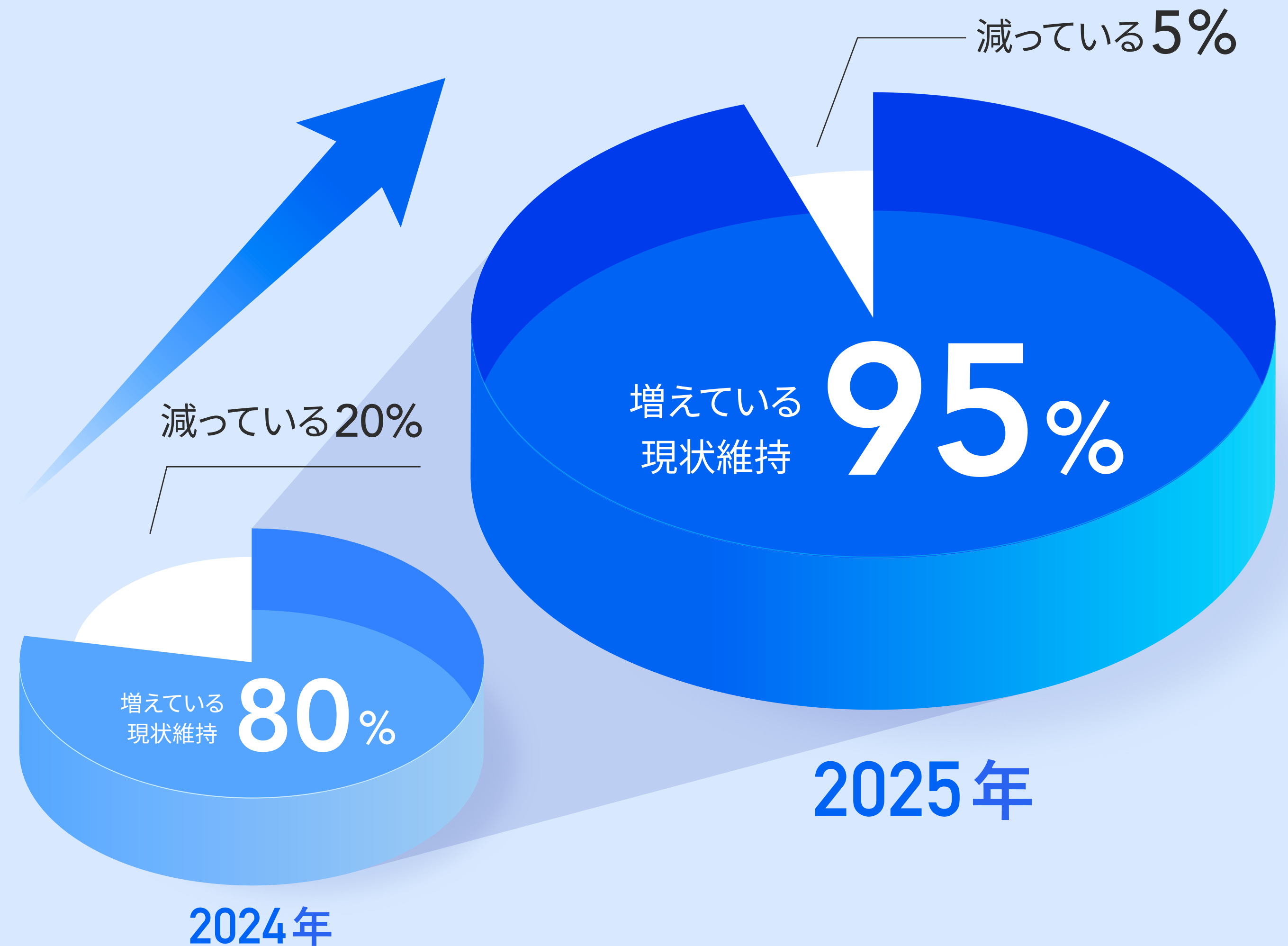
※「利用している」と解答した方の内訳です

Q2. 2年前と比較してSaaS利用数は増えていますか？

95%以上
増加傾向

増えていると回答した企業が95%を超える結果が出ました。
これは2024年度にとった同様のアンケートの結果を大きく
上回る数字となり、SaaSは、企業活動においていよいよ欠
かせないツールとなっていると言えます。

N=280 回答方式：マルチアンサー



Q3. 2年前と比較してSaaS利用数が増えている理由は？



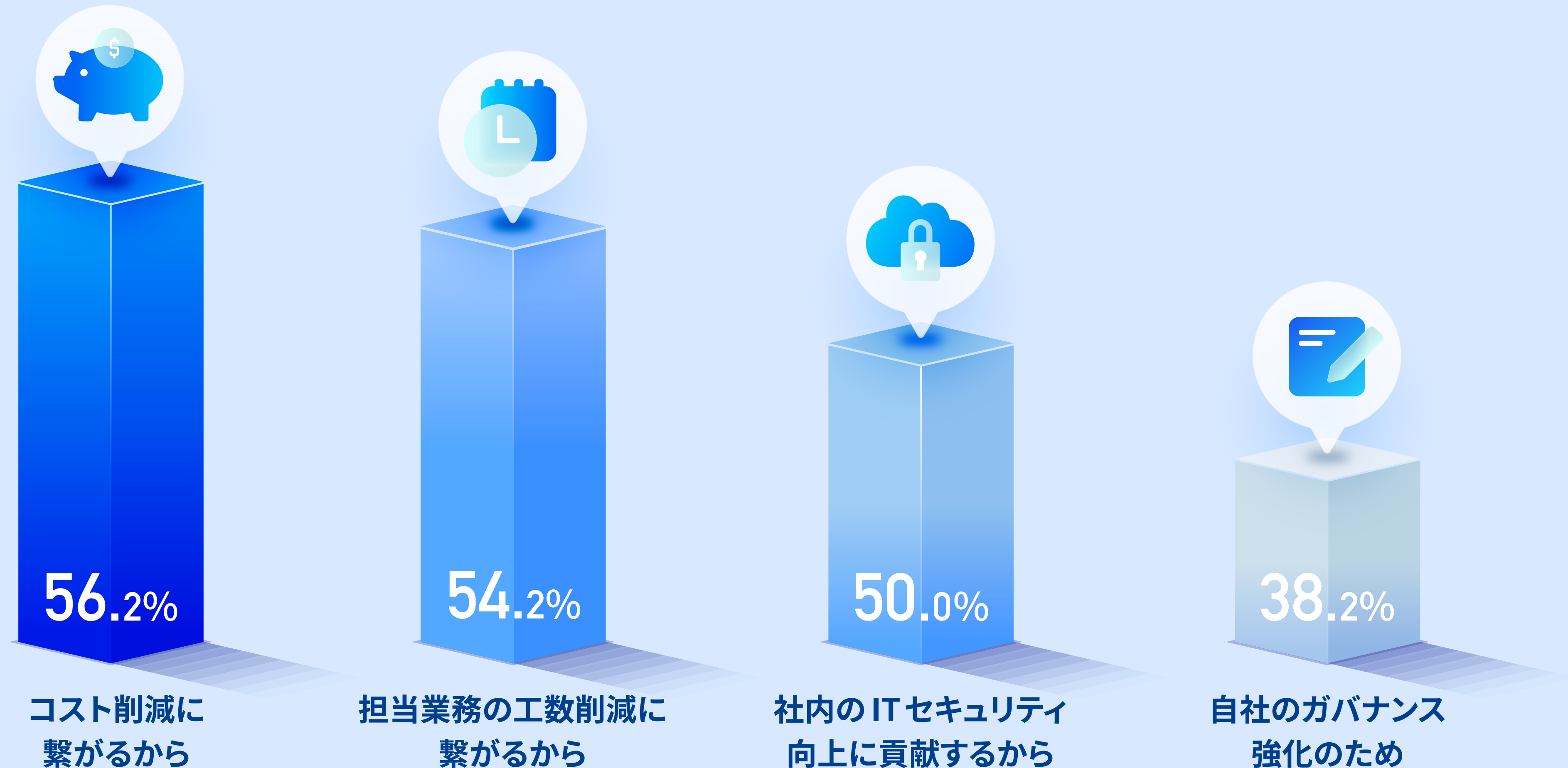
セキュリティ対策に関する情報収集はイベントやウェブメディアからの収集が人気な傾向ですが、ベンダーからの提案や事例共有も重要な情報源として活用している担当者や経営者が一定数います。SNSや書籍、専門誌などよりも、ベンダーからの提案が大きな比率をしめました。

N=143 回答方式：マルチアンサー

Q4. 新規SaaS導入を検討する理由は？

「工数削減」「セキュリティ向上」が検討の2TOPという結果になりました。

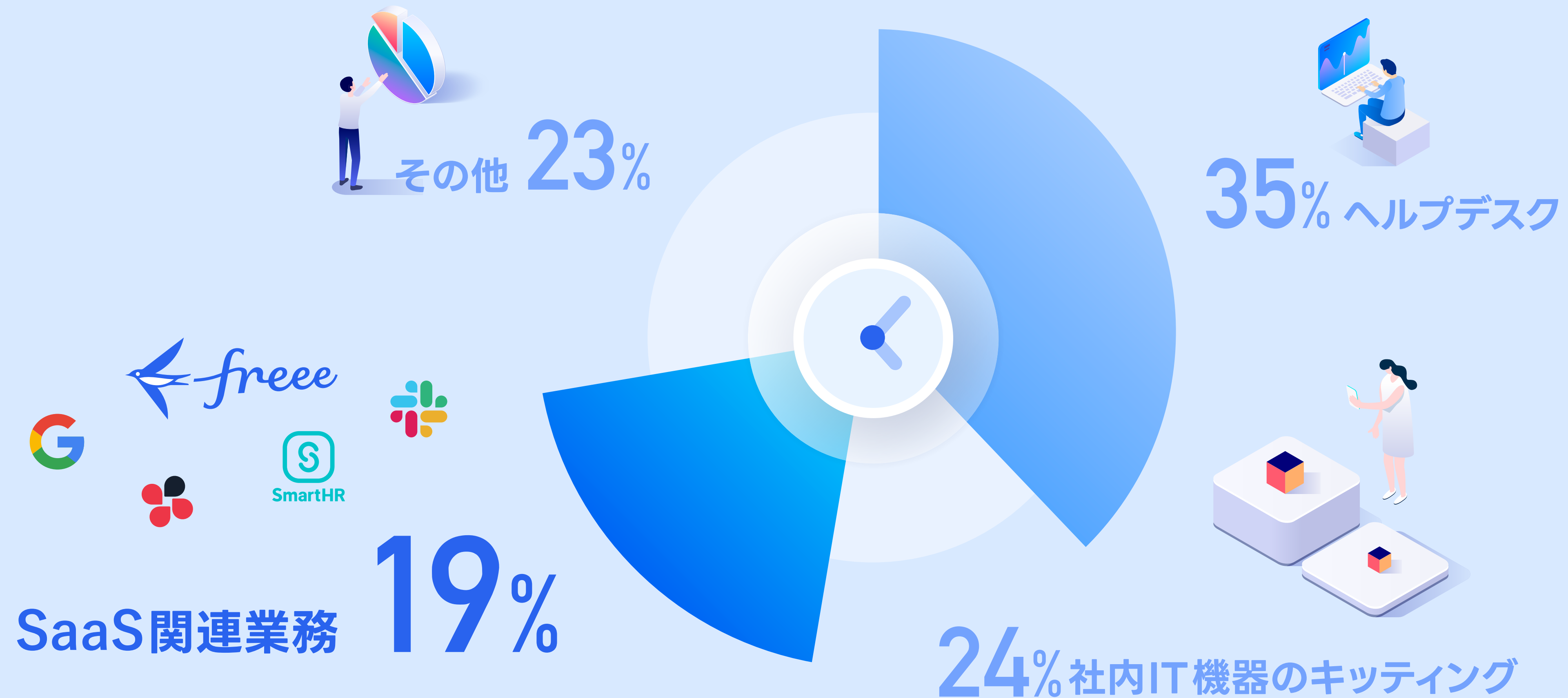
費用対効果を事前に十分に検討しているために、有償SaaSの利用が定番化しているとも言えます。



Q5. 情報システム部門において一番時間を割いている業務は？

新規 SaaS の導入など、利用する SaaS が増えることにより、ヘルプデスク、キitting、SaaS 管理の業務が、満遍なく負担になっている結果が出ました。

また、AI co-pilot 端末の登場やリース期限に伴う入れ替えなど、新たなキitting作業の工数が発生した可能性もあります。

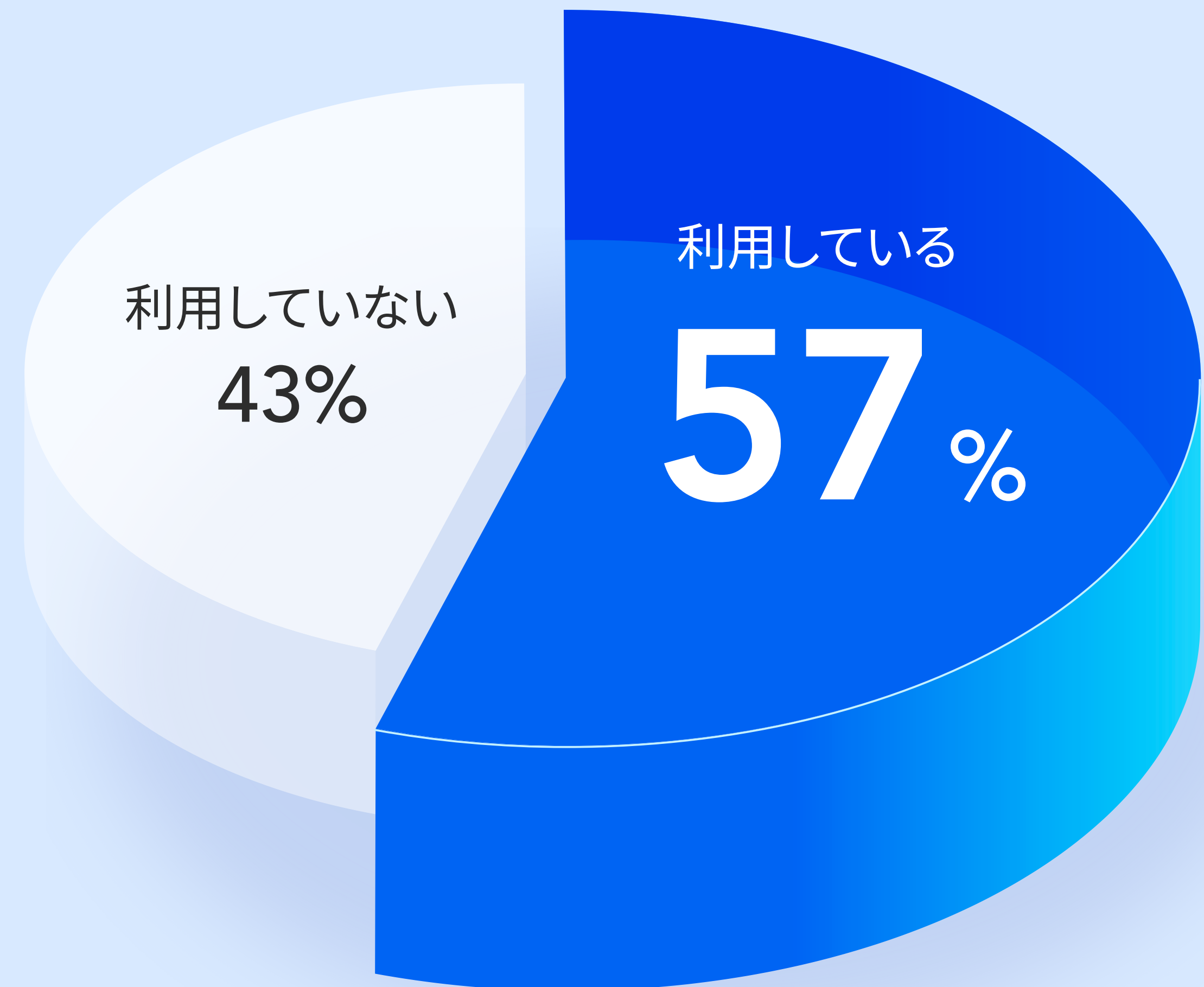


Q6. SaaS 管理システムを利用していますか？

過半数以上が
利用している

SaaS 管理システムを導入している企業も過半数を超えるアンケート結果になりました。前スライドで示唆があるように SaaS 管理業務には大きな負担や工数が生じる可能性があり、それらを解決するために導入が進んでいる背景が窺えます。SaaS利用数が20個を超えると、7割以上の企業で管理システムが採用されています。

N=270 回答方式：シングルアンサー



Q7. SaaS 管理システムの導入は効果的か？

工数・コスト削減だけでなく、シャドーITの検知、権限の適正付与など、セキュリティ、ガバナンスの強化においても手応えを感じている企業が多く見られたのが印象的です。

Q 導入効果はありましたか？

効果はなかった
9%

効果はあった

91%



工数削減に効果的 55.8%



入退社に伴うSaaSアカウントの発行、削除が出来るようになった。



コスト削減に効果的 52.9%



未使用のSaaSアカウントの削除がもれなく出来るようになった。



適正管理に効果的 48.6%



フォルダやファイル権限の適正付与がもれなく出来るようになった。



セキュリティに効果的 31.9%



シャドーITの検知が出来るようになった。

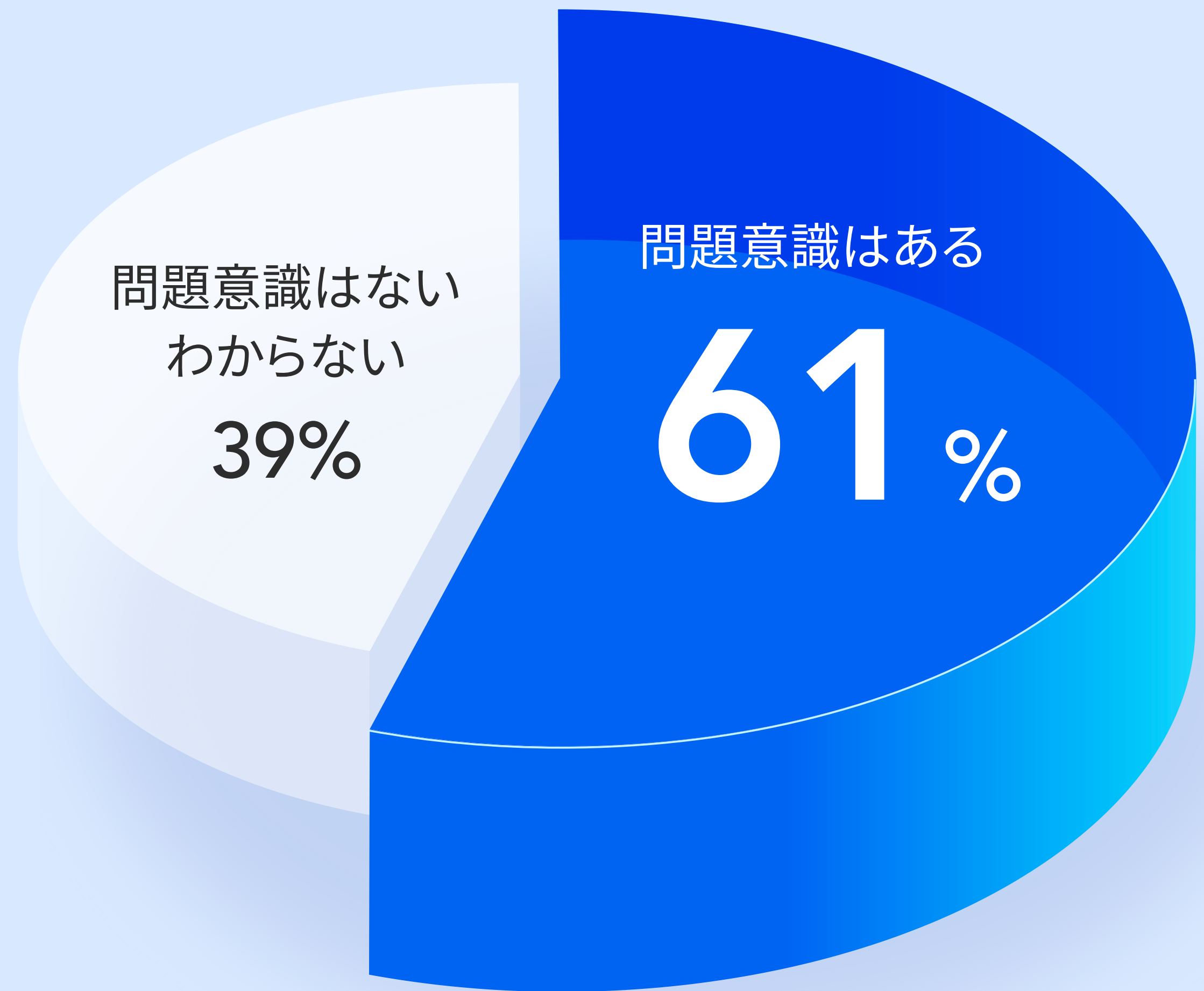
CHAPTER 02

情報セキュリティ対策に 関するアンケート結果

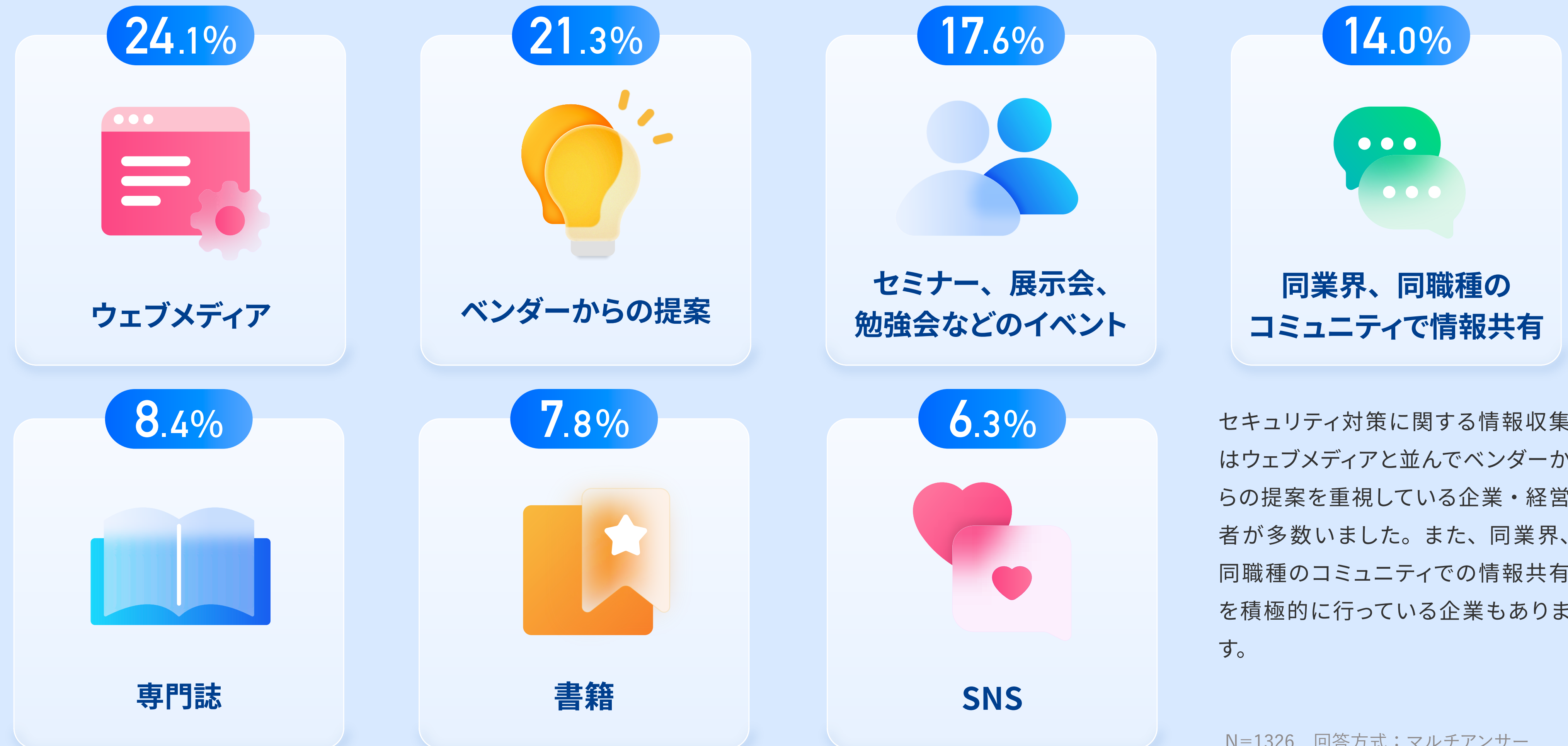


Q1. 勤務先の経営層は情報セキュリティに問題意識はありますか？

過半数以上が
問題意識はある

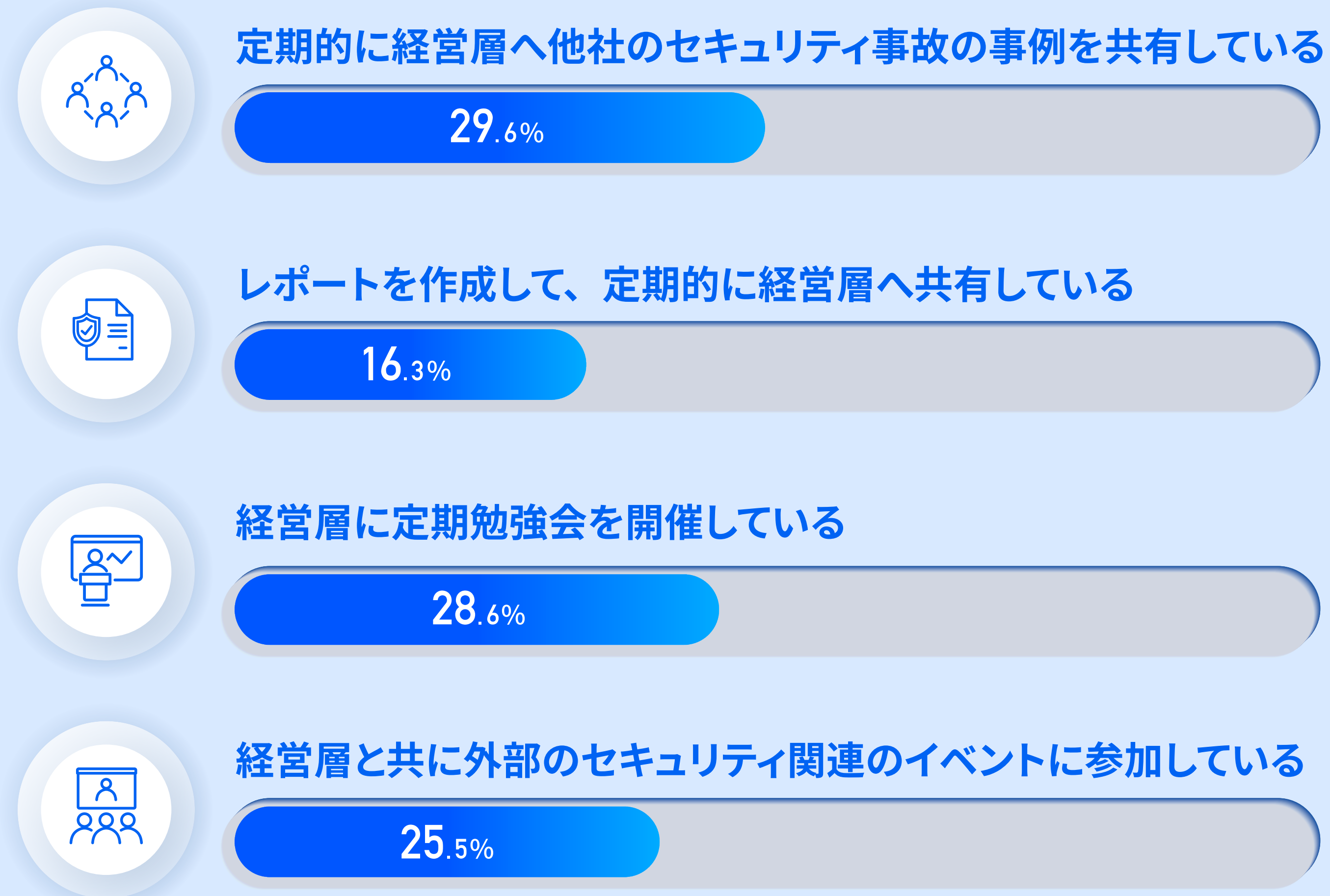


Q2. セキュリティ対策の情報収集源として活用しているのは？



セキュリティ対策に関する情報収集はウェブメディアと並んでベンダーからの提案を重視している企業・経営者が多数いました。また、同業界、同職種のコミュニティでの情報共有を積極的に行っている企業もあります。

Q3. 経営陣へのセキュリティの問題提起はどのようにしていますか？



経営層への問題提起は、他社事例の共有、定期的な勉強会の開催で促す傾向にあります。

情報漏えいなど企業の信用に関わる重要な事故をベースとしたホラーストーリーの共有が積極的に行われている様子が窺えます。

経営者といっしょに関連のイベントに参加している企業も多く、SaaS 全盛期のセキュリティの課題は、重要な経営課題のひとつとして多くの方が頭を悩ませている現実が伺えます。

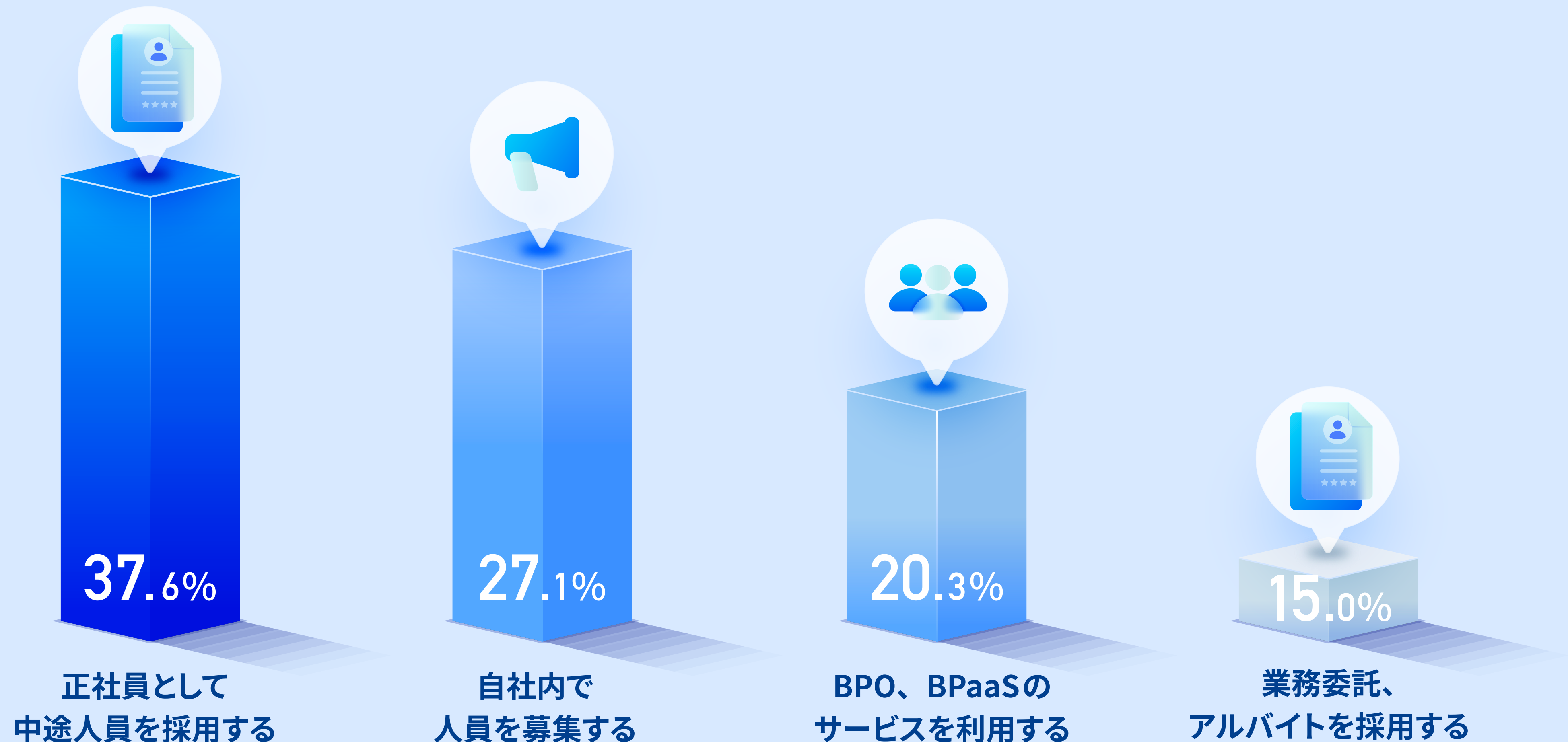
CHAPTER 03

情報システム部門の 人員に関するアンケート結果



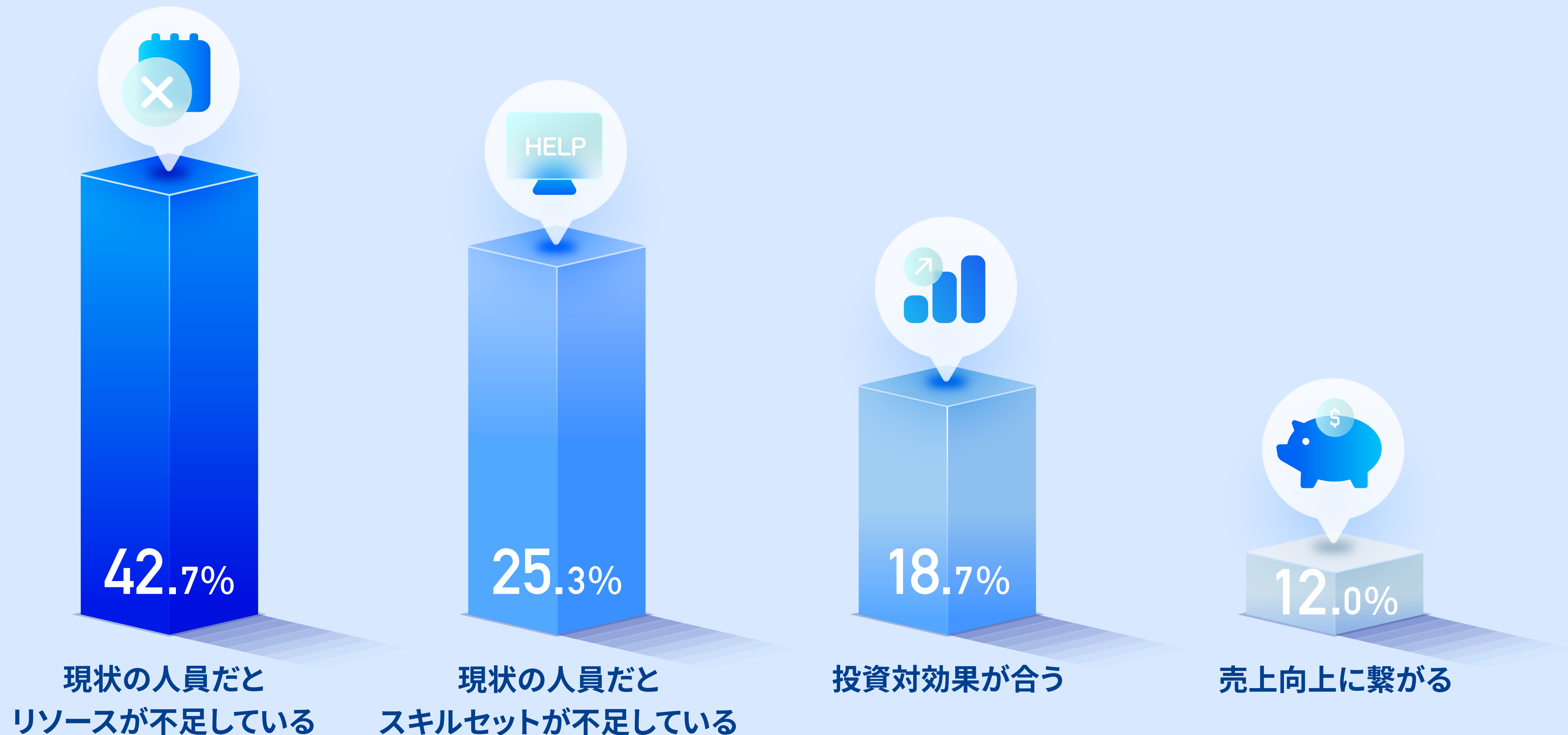
Q1. 人員を増やすために実施されている施策はありますか？

情報システム部門の人員増加には「正社員を採用する」という施策がもっとも多く、自社内で人員を募集する施策が次点となりました。これは社内の必要なデータがくまなく蓄積されている SaaS 関連の日常業務は、できれば会社内部の人材で扱いたい、という企業側の思いがあるのかもしれません。



Q2. 人員を増やす理由はなんですか？

人員を増やす理由に関しては、リソース不足を根拠にする企業が4割近くありました。次いで、現状の人員のスキルセットの不足が指摘されています。これは新しいSaaSの登場や、同じSaaSであっても、UI/UXのアップデート速度が早く、それらの情報に追いつくのが大変だという現場側の声への反応とも伺えます。投資対効果、売上貢献といったROIの側面ではなく、適材適所な人員確保と、安定した運営を経営が求めているのかもしれませんが、目標とするレベルの業務量をこなせる体制構築が求められている傾向がよみとれます。



まとめ

1. 有償 SaaS を利用している回答者が約 60%
2. 2 年前と比較して、自社で有償 SaaS 利用数を増加させた回答者が 90% 以上
3. 新規 SaaS 導入を検討する理由は経営課題の解決、ならびに、セキュリティ対策が大半。
4. 回答者の約 20% が情報システム部門が一番時間を割いている業務は SaaS 関連業務と回答
5. 半数以上の回答者が自社で SaaS アカウント管理システムを利用していると回答
6. 約 90% の回答者が SaaS アカウント管理システムの効果を実感
7. 経営陣にセキュリティ意識があると回答した回答者は、過半数越え。
8. 経営陣へのセキュリティの問題の提起は、定期勉強の開催やレポートの提出など、現場担当者の重要な業務となっている。
9. 情報システム部門の人員強化は内製化がトレンド。
10. 情報システム部門の人員を増やす理由はリソースの不足と SaaS 関連の業務のアップデートに現場が追いつくのが大変だという苦勞が伺える。

BUNDLEについて

情シス向けのSaaS一元管理ツールです。SaaSのアカウント発行・削除・棚卸しを自動化できます。ファイル・フォルダ、備品なども管理する事ができます。また様々なSaaSからデータを取得し統合マスターを作る事ができます。

詳細
お問い合わせ先



<https://bundle.jp>



smb-bundle-mktg@freee.co.jp



03-6845-0269

